

家計調査報告〔家計収支編〕

- 平成24年1～3月期平均速報 -

< 1世帯当たりの1か月平均の消費支出 >

総世帯は,	246,023 円		
前年同期比	名目 0.9%の増加	実質 0.5%の増加	
二人以上の世帯は,	284,951 円		
前年同期比	名目 1.5%の増加	実質 1.1%の増加	
単身世帯は,	153,607 円		
前年同期比	名目 0.9%の減少	実質 1.3%の減少	

< 1世帯当たりの1か月平均の消費支出(除く住居等) >

総世帯は,	前年同期比	実質 0.3%の増加
二人以上の世帯は,	前年同期比	実質 1.3%の増加
単身世帯は,	前年同期比	実質 3.2%の減少

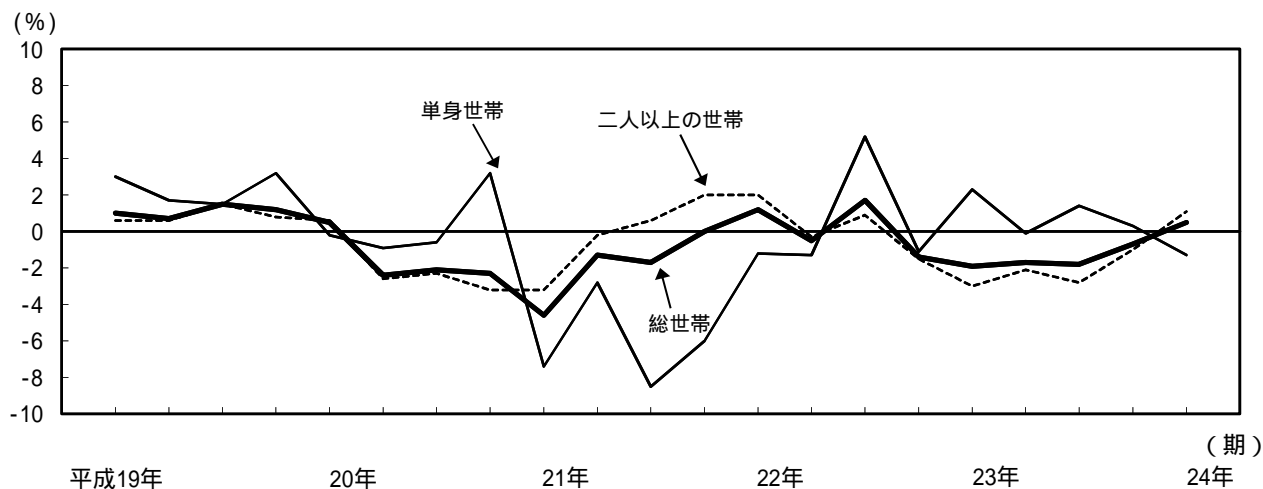
：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

< 勤労者世帯の収支 >

総世帯は,	実収入	前年同期比	実質 1.8%の増加
	可処分所得	前年同期比	実質 1.2%の増加
	消費支出	前年同期比	実質 0.9%の増加
	平均消費性向	81.5 %	
二人以上の世帯は,	実収入	前年同期比	実質 3.1%の増加
	可処分所得	前年同期比	実質 2.3%の増加
	消費支出	前年同期比	実質 1.4%の増加
	平均消費性向	82.8 %	

消費支出の推移

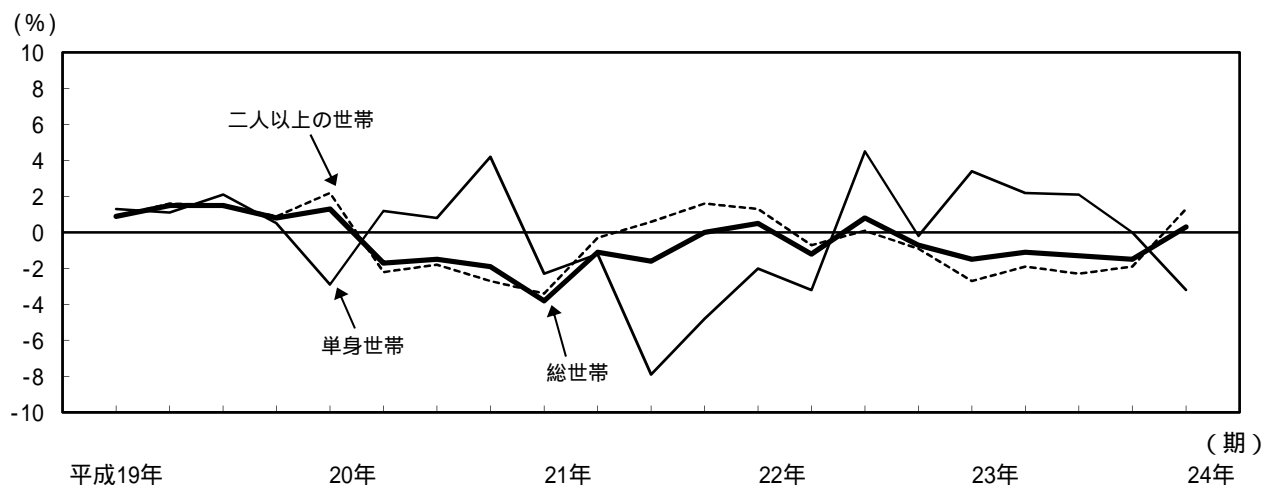
図1 消費支出の対前年同期実質増減率の推移



消費支出	平成21年				22年				23年				24年
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1
総世帯	-4.6	-1.3	-1.7	0.0	1.2	-0.5	1.7	-1.4	-1.9	-1.7	-1.8	-0.7	0.5
二人以上の世帯	-3.2	-0.2	0.6	2.0	2.0	-0.3	0.9	-1.5	-3.0	-2.1	-2.8	-1.0	1.1
単身世帯	-7.4	-2.8	-8.5	-6.0	-1.2	-1.3	5.2	-1.1	2.3	-0.1	1.4	0.3	-1.3

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図2 消費支出（除く住居等）の対前年同期実質増減率の推移

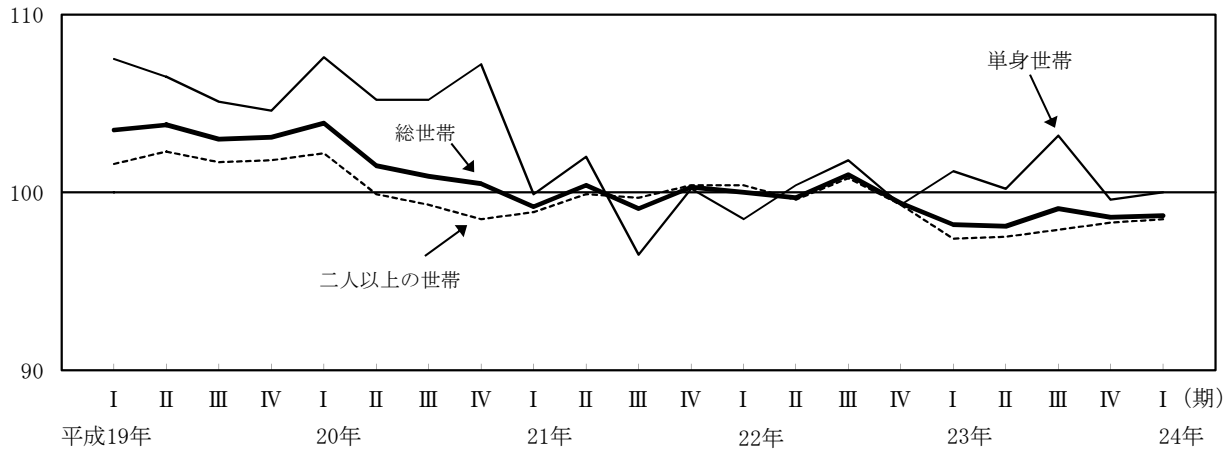


消費支出(除く住居等)	平成21年				22年				23年				24年
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1
総世帯	-3.8	-1.1	-1.6	0.0	0.5	-1.2	0.8	-0.7	-1.5	-1.1	-1.3	-1.5	0.3
二人以上の世帯	-3.4	-0.3	0.6	1.6	1.3	-0.7	0.1	-0.9	-2.7	-1.9	-2.3	-1.9	1.3
単身世帯	-2.3	-1.2	-7.9	-4.8	-2.0	-3.2	4.5	-0.2	3.4	2.2	2.1	0.0	-3.2

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移

(平成22年=100)

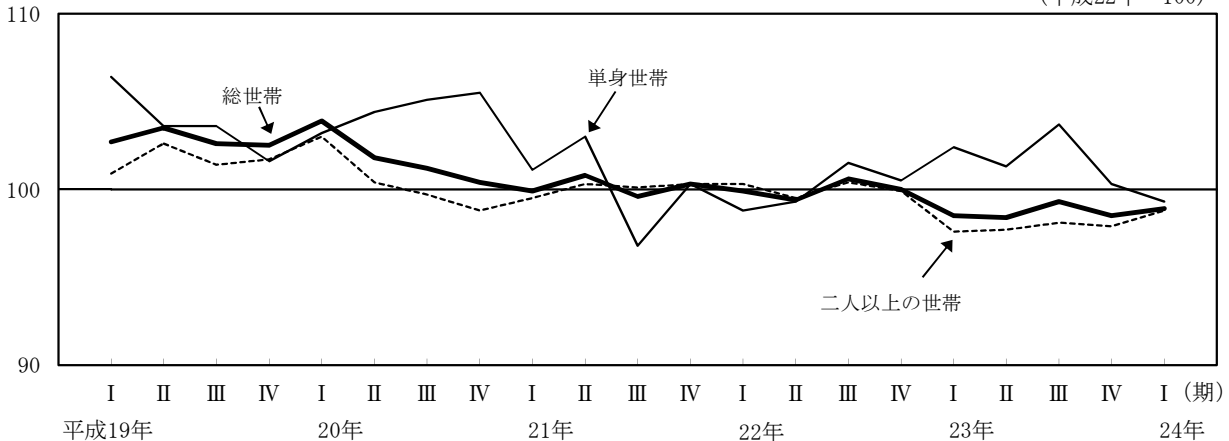


消費支出	平成21年				22年				23年				24年
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I
総世帯	99.2	100.4	99.1	100.3	100.0	99.7	101.0	99.4	98.2	98.1	99.1	98.6	98.7
対前期変化率(%)	-1.3	1.2	-1.3	1.2	-0.3	-0.3	1.3	-1.6	-1.2	-0.1	1.0	-0.5	0.1
二人以上の世帯	98.9	99.9	99.7	100.4	100.4	99.6	100.8	99.3	97.4	97.5	97.9	98.3	98.5
対前期変化率(%)	0.4	1.0	-0.2	0.7	0.0	-0.8	1.2	-1.5	-1.9	0.1	0.4	0.4	0.2
単身世帯	99.9	102.0	96.5	100.2	98.5	100.4	101.8	99.3	101.2	100.2	103.2	99.6	100.0
対前期変化率(%)	-6.8	2.1	-5.4	3.8	-1.7	1.9	1.4	-2.5	1.9	-1.0	3.0	-3.5	0.4

- 注1 Iは1～3月期, IIは4～6月期, IIIは7～9月期, IVは10～12月期を表す。
 2 季節調整の方法は, センサス局法(X-12-ARIMAのX-11デフォルト)を用いた。
 3 季節調整値は, 過去に遡って改定した。

図4 消費支出（除く住居等*）（季節調整済実質指数）の推移

(平成22年=100)



消費支出(除く住居等*)	平成21年				22年				23年				24年
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I
総世帯	99.9	100.8	99.6	100.3	99.9	99.4	100.6	100.0	98.5	98.4	99.3	98.5	98.9
対前期変化率(%)	-0.5	0.9	-1.2	0.7	-0.4	-0.5	1.2	-0.6	-1.5	-0.1	0.9	-0.8	0.4
二人以上の世帯	99.5	100.3	100.1	100.3	100.3	99.5	100.4	99.9	97.6	97.7	98.1	97.9	98.8
対前期変化率(%)	0.7	0.8	-0.2	0.2	0.0	-0.8	0.9	-0.5	-2.3	0.1	0.4	-0.2	0.9
単身世帯	101.1	103.0	96.8	100.3	98.8	99.3	101.5	100.5	102.4	101.3	103.7	100.3	99.3
対前期変化率(%)	-4.2	1.9	-6.0	3.6	-1.5	0.5	2.2	-1.0	1.9	-1.1	2.4	-3.3	-1.0

- 注1 Iは1～3月期, IIは4～6月期, IIIは7～9月期, IVは10～12月期を表す。
 2 季節調整の方法は, センサス局法(X-12-ARIMAのX-11デフォルト)を用いた。
 3 季節調整値は, 過去に遡って改定した。

総世帯（「二人以上の世帯」と「単身世帯」を合わせた世帯）

1 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（平成24年1～3月期 - 総世帯）

項目	金額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減率への寄与度 (%)	摘要	備考
		名目	実質			
消費支出	246,023	0.9	0.5	0.5		6期ぶりの実質増加
食料	56,540	2.4	1.2	0.27	<増加> 外食, 乳卵類など	4期連続の実質増加
住居	16,593	-0.1	0.1	0.01	<増加> 設備修繕・維持	3期連続の実質増加
光熱・水道	24,497	4.9	0.2	0.02	<増加> ガス代	4期ぶりの実質増加
家具・家事用品	7,352	4.5	8.0	0.23	<増加> 家庭用耐久財, 室内装備・装飾品など	13期連続の実質増加
被服及び履物	9,778	7.1	6.5	0.24	<増加> 洋服, 履物類など	2期連続の実質増加
保健医療	10,612	-1.2	-0.2	-0.01	<減少> 保健医療サービス	5期ぶりの実質減少
交通・通信	33,024	2.9	1.8	0.23	<増加> 自動車等関係費	6期ぶりの実質増加
教育	8,312	4.7	4.5	0.15		
教養娯楽	24,088	-4.2	-1.8	-0.19	<減少> 教養娯楽用耐久財, 書籍・他の印刷物	2期連続の実質減少
その他の消費支出	55,227	-2.3	(-2.7)	(-0.62)	<減少> 仕送り金, こづかいなど	6期連続の減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。

3 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中分類

品目

<増加項目>

実質寄与度

自動車等関係費	[0.55]	自動車購入, 自動車等関連用品
外食	[0.28]	飲酒代, 和食
教養娯楽サービス	[0.21]	国内パック旅行費
家庭用耐久財	[0.11]	電気冷蔵庫, 電気洗濯機
乳卵類	[0.08]	ヨーグルト, チーズ
洋服	[0.08]	女子用学校制服, 子供服

<減少項目>

教養娯楽用耐久財	[-0.42]	テレビ, ビデオデッキ
通信	[-0.15]	携帯電話通信料, 運送料
交通	[-0.14]	鉄道運賃, 航空運賃
交際費	[-0.13]	贈与金
穀類	[-0.09]	米, 中華めん
保健医療サービス	[-0.09]	他の入院料 [*] , 出産入院料

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

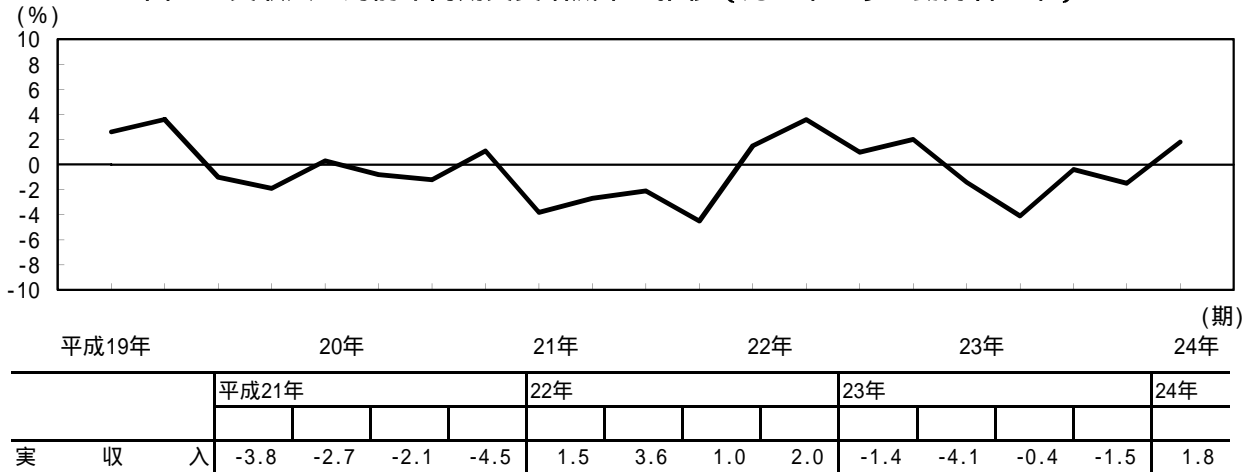
* 「他の入院料」とは、「出産入院料」以外の入院料をいう。

2 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（平成24年1～3月期 - 総世帯のうち勤労者世帯）

項目	金額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への寄 与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	404,964	2.2	1.8	1.8	5期ぶりの実質増加
世帯主収入	332,901	2.1	1.7	1.39	2期ぶりの実質増加
定期収入	327,302	2.1	1.7	1.34	2期連続の実質増加
臨時収入・賞与	5,600	4.0	3.6	0.05	2期ぶりの実質増加
配偶者の収入	35,853	6.3	5.9	0.50	2期連続の実質増加
うち女性	35,315	5.7	5.3	0.45	2期連続の実質増加
他の世帯員収入	5,938	-9.2	-9.6	-0.16	4期連続の実質減少
非消費支出	68,815	5.1	-	-	3期連続の増加
可処分所得	336,149	1.6	1.2	-	5期ぶりの実質増加
消費支出	274,051	1.3	0.9	-	5期ぶりの実質増加
平均消費性向(%)	81.5	(前年同期) 81.8	(ポイント差) -0.3		

図5 実収入の対前年同期実質増減率の推移（総世帯のうち勤労者世帯）



注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

二人以上の世帯

1 消費支出とその内訳

表3 消費支出の内訳（平成24年1～3月期 - 二人以上の世帯）

項目	金額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	摘要	備考
		名目	実質			
消費支出	284,951	1.5	1.1	1.1		6期ぶりの実質増加
食料	65,075	2.6	1.4	0.32	<増加> 外食, 乳卵類など	8期ぶりの実質増加
住居	15,874	-1.3	-1.1	-0.06	<減少> 設備修繕・維持, 家賃地代	3期ぶりの実質減少
光熱・水道	28,829	4.8	0.1	0.01	<増加> ガス代, 電気代	4期ぶりの実質増加
家具・家事用品	8,926	4.8	8.3	0.25	<増加> 家庭用耐久財, 家事雑貨など	4期連続の実質増加
被服及び履物	11,387	5.9	5.3	0.20	<増加> 洋服, シャツ・セーター類など	2期連続の実質増加
保健医療	12,665	-1.0	0.0	0.00	<同水準>	
交通・通信	38,804	2.9	1.8	0.25	<増加> 自動車等関係費	6期ぶりの実質増加
教育	11,815	5.3	5.1	0.20	<増加> 補習教育, 授業料など	3期連続の実質増加
教養娯楽	27,254	0.0	2.5	0.24	<増加> 教養娯楽サービス, 教養娯楽用品	5期ぶりの実質増加
その他の消費支出	64,323	-1.7	(-2.1)	(-0.48)	<減少> 仕送り金, こづかい	16期連続の減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中分類 品目

< 増加項目 >

実質寄与度

教養娯楽サービス	[0.54]	……	国内パック旅行費, ゴルフプレー料金
自動車等関係費	[0.46]	……	自動車購入, 自動車等関連用品
外食	[0.26]	……	飲酒代, 和食
諸雑費	[0.20]	……	婚礼関係費, 葬儀関係費
補習教育	[0.17]	……	幼児・小学校補習教育, 高校補習教育・予備校
家庭用耐久財	[0.13]	……	電気冷蔵庫, 電気洗濯機

< 減少項目 >

教養娯楽用耐久財	[-0.34]	……	テレビ, ビデオデッキ
通信	[-0.14]	……	携帯電話通信料, 運送料
穀類	[-0.10]	……	米, カップめん
保健医療サービス	[-0.10]	……	他の入院料*, 出産入院料

注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

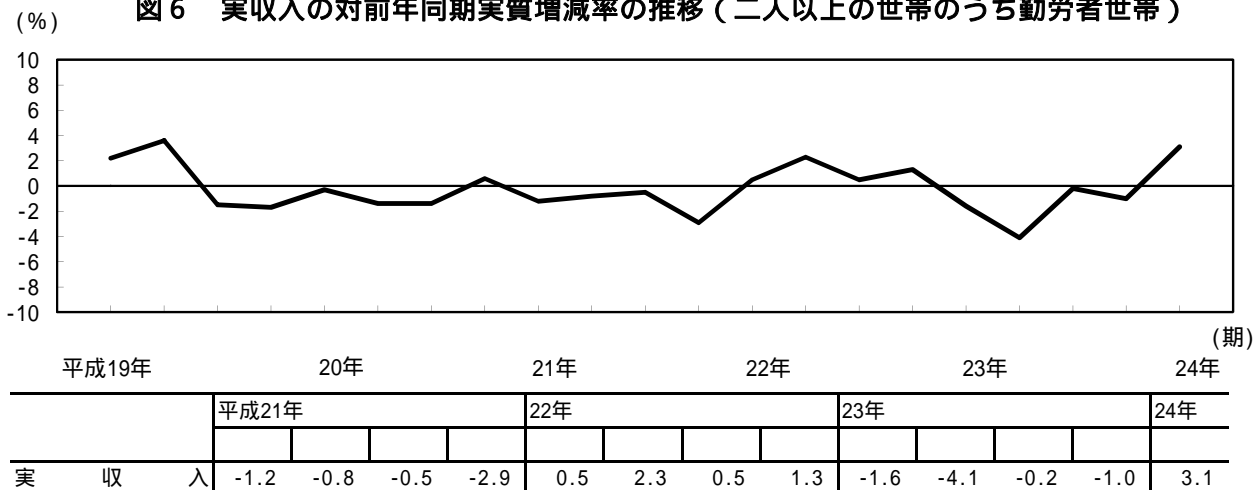
* 「他の入院料」とは、「出産入院料」以外の入院料をいう。

2 勤労者世帯の収支

表4 収支の内訳（平成24年1～3月期 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項目	金額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備考
		名目	実質		
実収入	451,671	3.5	3.1	3.1	5期ぶりの実質増加
世帯主収入	357,731	3.7	3.3	2.61	2期ぶりの実質増加
定期収入	351,189	3.5	3.1	2.43	2期連続の実質増加
臨時収入・賞与	6,542	14.4	13.9	0.18	2期ぶりの実質増加
配偶者の収入	48,987	6.6	6.2	0.65	2期連続の実質増加
うち女性	48,251	6.0	5.6	0.58	2期連続の実質増加
他の世帯員収入	8,113	-9.0	-9.4	-0.19	4期連続の実質減少
非消費支出	76,244	7.4	-	-	3期連続の増加
可処分所得	375,427	2.7	2.3	-	5期ぶりの実質増加
消費支出	310,701	1.8	1.4	-	5期ぶりの実質増加
平均消費性向(%)	82.8	(前年同期) (ポイント差) 83.5 -0.7			

図6 実収入の対前年同期実質増減率の推移（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）



注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

単身世帯

消費支出とその内訳

表5 消費支出の内訳（平成24年1～3月期 - 単身世帯）

項目	金額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減率への寄与度 (%)	摘要	備考
		名目	実質			
消費支出	153,607	-0.9	-1.3	-1.3		3期ぶりの実質減少
食料	36,275	2.1	0.9	0.21	<増加> 外食,酒類など	4期連続の実質増加
住居	18,295	2.4	2.6	0.30	<増加> 設備修繕・維持	3期連続の実質増加
光熱・水道	14,208	6.3	1.5	0.13	<増加> 他の光熱,電気代	4期ぶりの実質増加
家具・家事用品	3,617	4.0	7.4	0.17	<増加> 家事サービス,室内装備・装飾品など	2期連続の実質増加
被服及び履物	5,960	13.8	13.1	0.44	<増加> 洋服,履物類など	4期連続の実質増加
保健医療	5,740	-1.1	-0.1	0.00	<減少> 医薬品,保健医療サービス	2期ぶりの実質減少
交通・通信	19,312	3.7	2.6	0.31	<増加> 自動車等関係費	3期ぶりの実質増加
教育	0	-	-	-		
教養娯楽	16,573	-17.4	-15.4	-1.99	<減少> 教養娯楽サービス,教養娯楽用耐久財など	2期連続の実質減少
その他の消費支出	33,627	-4.2	(-4.6)	(-1.03)	<減少> 諸雑費,交際費など	2期連続の減少

- 注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。
 2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。また、消費支出全体に占める割合が小さいことから、増減率については掲載していない。
 3 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中分類 品目

< 減少項目 >

実質寄与度

教養娯楽サービス	[-1.21]	外国パック旅行費,宿泊料
諸雑費	[-0.95]	寄付金,祭具・墓石
交際費	[-0.84]	贈与金
教養娯楽用耐久財	[-0.78]	テレビ,パーソナルコンピュータ
交通	[-0.47]	鉄道運賃,鉄道定期代
調理食品	[-0.24]	弁当,そうざい材料セット

< 増加項目 >

自動車等関係費	[1.01]	自動車等部品,自動車整備費
外食	[0.35]	中華食,飲酒代
設備修繕・維持	[0.31]	設備器具,外壁・塀等工事費
酒類	[0.22]	ワイン,清酒
洋服	[0.21]	婦人服,婦人用上着

- 注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。
 2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

< 参考 >

図7 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（平成24年1～3月期 - 総世帯）

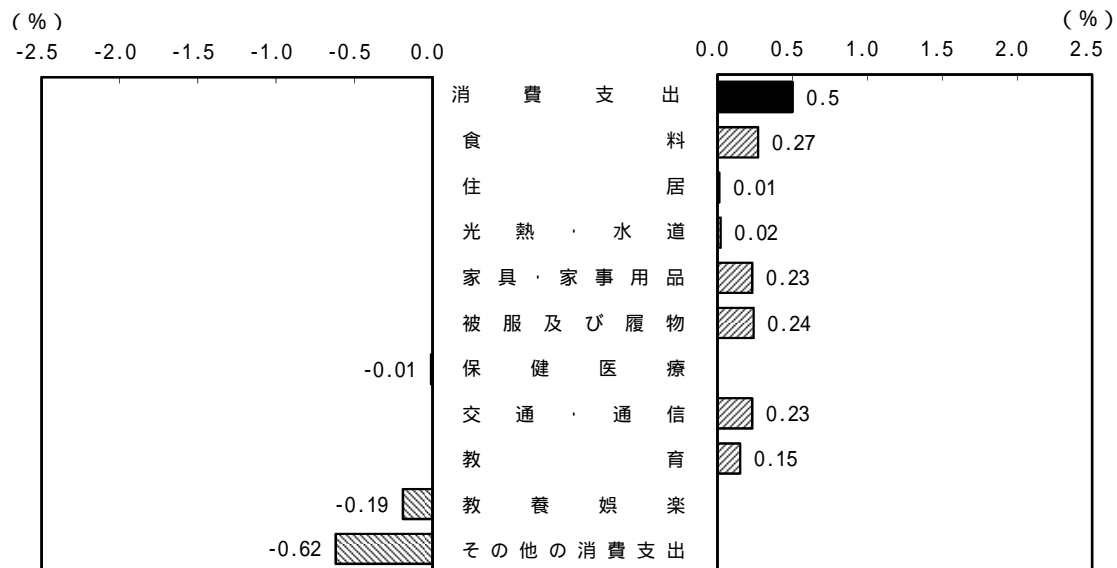


図8 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（平成24年1～3月期 - 二人以上の世帯）

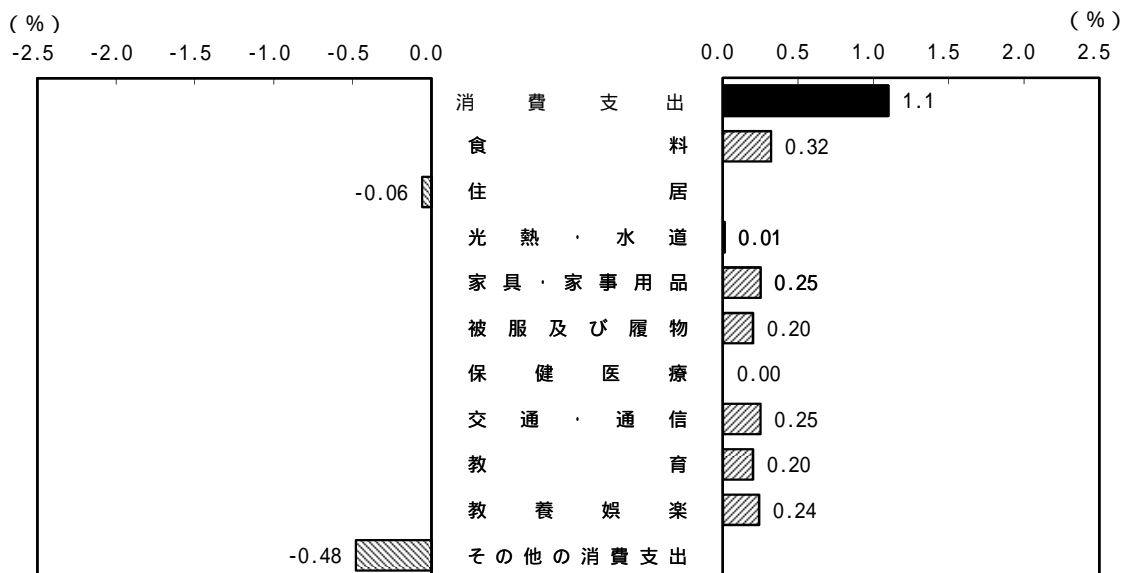
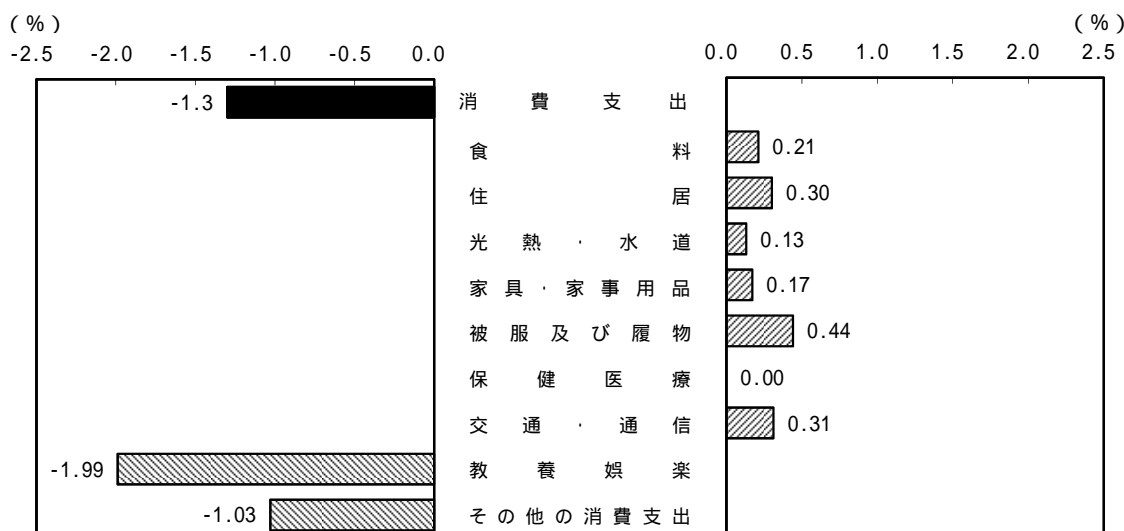


図9 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（平成24年1～3月期 - 単身世帯）



注 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

（注）愛知県における家計調査の不正事務のため、平成23年12月分から24年2月分までの結果に係る部分については、後日、再集計を行う予定。なお、平成24年3月分の結果については不正事務に係る調査票を除いて集計。